

夢づくり協働推進事業の実施状況 5

事業名

安全・安心の備中 備中地域自主防災組織の拡大支援

事業の概要

台風や地震など大規模な災害に対し、地域の防災力の強化を図るため、県民局、市町、地域団体、防災NPO等と連携し、中核となる自主防災組織の設置と育成の推進を図り、住民の防災意識を育み、防災活動への参加を促した。

協働の主体・役割分担

協働の主体	役割分担内容
倉敷市砂原、倉敷市真備町、笠岡市大島、浅口市益坂及び松井地区の住民	主に自主防災活動の一環として、防災研修会を企画、中には消防部局の防災訓練、炊き出し等との実地訓練との抱き合わせでの開催もあった。
新見市、笠岡市	みんなで防災講座での会場手配、参加者募集
倉敷市災害ボランティアコーディネーター連絡会	「岡山県の防災の取組」などのテーマを決めた防災研修会の会場準備、参加者募集
県民局（地域防災監）	防災講習会講座の企画・講師、パンフレット配布など

実施状況

1 「みんなで防災」講座の開催

地域の防災意識を育み、防災活動への参加を促すため、自主防災組織率の低い市町順に研修会等を開催した。

(1) 新見会場

新見市においては、防災意識の希薄な職員に対し、職員研修会として市町村合併後初の防災研修会を企画し、地域防災計画に基づく自治体職員としての役割などを講座に取り入れ、職員に対し再認識させた。

①日 時：平成22年1月21日（木）

午前の部 10:00～12:00

午後の部 13:30～15:30

②場 所：新見市総合福祉センター3階 大会議室

③参加者：新見市職員 ①、②ともに約100名程度



(2) 笠岡会場

笠岡市においては、地域の自主防災活動活性化に向けた研修会を開催し、消防団や自主防災組織の必要性と活性化に向けた研修会を開催を予定していたが、当日、津波警報発令により、防災体制をとることとなり中止。次年度に開催予定とする。

①日 時：平成22年2月28日（日） 10:00～12:00

②場 所：笠岡市サンライフ笠岡 大会議室

③参加者：市民及び消防団員等 約100名程度

2 防災講習会等

住民の防災意識を育み、自主防災組織率の向上を図るため、管内市町の町内会等の防災組織の単位ごとに開催が企画される防災講座や自主防災組織等の研修会に、地域防災監が講師として出向き、災害事例の紹介、自助、共助、自主防災組織の重要性及びその活動活性化などの必要性を説いた。

- ・主な開催状況：倉敷市砂原地区 約30名
- 浅口市益坂及び松井地区 約60名
- 倉敷市真備町菌地区 約120名 →
- 笠岡市大島地区 約70名
- 倉敷市清音地区 約40名



3 防災・危機管理先進地視察研修の開催

東南海・南海地震及び台風等の自然災害に備え、先進地における防災施設の見学・体験学習通じ、県民局職員、管内市町職員及び消防関係職員の防災・危機管理対策の資質向上及び実践的課題への対応能力の向上を図った。

①日時：平成22年2月22日

②視察先：兵庫県立三木総合防災公園（兵庫県三木市志染町）

北淡震災記念公園（兵庫県淡路市小倉）

③参加者：県民局各部所防災担当、管内市町防災担当者及び消防職員、防災公園建設担当者など

4 防災パネル展の開催

(1) 防災週間における防災パネル展

- ①日時：平成21年8月30日（日）～9月5日（土）
- ②場所：倉敷駅前商店街ビオス憩いの広場
- ③参加団体：県民局、くらしき市民防災ネットワーク
倉敷市災害ボランティアコーディネーター連絡会



(2) 防災とボランティア週間における防災パネル展

- ①日時：平成22年1月15日（金）～1月21日（木）
- ②場所：倉敷市役所正面玄関ロビー
- ③参加団体：県民局、倉敷市

成果・効果

- 1 住民の防災意識を育み、防災活動への参加を促すよう、住民の参加しやすい日程設定、わかりやすい講義内容など、参加者にあわせた会の開催に注力し、防災監は講師として土日にかかわらず講演会、講習会の講師を務め、広く自主防災組織の重要性や自助、共助の重要性を説き、地域の防災力の向上に寄与した。
- 2 自主防災組織のない地区においては、今後の組織編成を考える契機として、また、既存組織においてはその活性化の重要性を認識させることが出来、地域の防災力の向上に寄与した。